

# 川上ダム通信

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索  
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

2014  
2  
月号



Vol. 101  
Since 2005



## 水質事故に備える ～水質事故対応講習会を開催～

1月22日(水)、当建設所において水質事故対応に関する職員の技術力・意識向上を目的として講習会を実施しました。

水質事故は迅速な初期対応と適切な処理が求められます。例えば、工事で使用する建設機械同士の事故、過失による油漏れ事故が発生すると、油が付近の水路から河川へ流れ出し、下流の水道用水、農業用水の取水、魚等の生態系に多大な影響を及ぼす可能性があります。このような油流出事故では、時間の経過と共に加速度的に拡大する被害を抑制するために初期段階での対応が重要です。また、処理に中和剤や食器洗剤を使用してしまうと、油が河川水に混ざり合っ油の回収が大変困難になるため、現場では絶対にやってはいけないことの一つとなっています。今回はこれらの水質事故対応の基本を確認する良い機会となりました。



講習会の様子

今後も引き続き、講習会等を通じ職員の技術力向上を図ると共に、河川管理者や淀川・神崎川水質汚濁防止連絡協議会等の関係機関と連携を取りながら、水質事故に備えて参ります。

【工務課 猿楽義信】

## 伊賀市が利水参画継続の方針を決定

昨年12月25日(水)に開催された伊賀市議会全員協議会において、議員24人中22人の賛成多数でダム推進が採決されたことを受け、岡本伊賀市長はダム利水を継続する考えを表明されました。

翌日、従来どおりの開発水量で川上ダム建設事業への利水参画を継続する方針を決定した旨の文書が、国及び水資源機構あてに提出されました。

現在、川上ダム建設事業はダム事業の検証を実施中であり、これを速やかに終了できるよう予断無くかつ迅速に進めて参りますので、ご理解とご協力をお願いします。

【調査設計課 遠本和也】

# 環境用語集 #18 インフルエンザ

今回は、昨年末から三重県内でも流行しつつある「インフルエンザ」について紹介します。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスがのどや気管支、肺に入り、増殖することによって発症する病気です。

このインフルエンザウイルスは、A型、B型、C型に大きく分類されます。そのうち大きな流行の原因となるのはA型とB型です。現在、国内で流行しているウイルスは、A/H1N1 亜型とA/H3N2 亜型（いわゆる香港型）、B型の3種類です。流行するウイルス型や亜型の割合は、国や地域で、また、その年ごとにも異なっています。

A型のインフルエンザは、抗原性が小さく変化しながら毎年世界中で流行しています。これを季節性インフルエンザと呼んでいます。時として、この抗原性が大きく異なったウイルスが現れ、多くの人々が免疫を獲得していないことから全国的に急速にまん延し、国民の健康と生命、生活に、場合によっては医療体制を含めた社会機能や経済活動にまで影響を及ぼす可能性があるものを新型インフルエンザと呼んでいます。

日本では、例年空気が乾燥しがちな12月～3月頃に流行します。インフルエンザの主な感染経路は、咳やくしゃみの際に口から発生する小さな水滴（飛沫）による飛沫感染です。みなさんも、手洗い・うがいはもちろん、マスクの着用や室内の適度な加湿等で十分な予防対策をしましょう。

※参照：厚生労働省 HP

【環境課 飯島芳則】



## ダムナイト～日本ダムアワード2013開催！大賞は・・・

2013年、もっとも活躍したダムはどこか・・・？

ダムファンによる、ダム版アカデミー賞「日本ダムアワード2013」が、昨年12月29日（日）に東京都江東区にある東京カルチャーカルチャーで開催され、100席を超える会場は満席となりました。

このイベントは、2013年にもっとも活躍したダムを観客のみんなで決めようというもので、放流賞、イベント賞、低水管理賞、洪水調節賞があり、各賞でノミネートされたダムの中から観客の投票により受賞ダムが決定され、最終的にはダム大賞を決めるというものです。当機構が管理するダムも、イベント賞、低水管理賞、洪水調節賞にノミネートされました。

今回、栄誉あるダム大賞に選ばれたのは、当機構が管理する「日吉ダム」（京都府南丹市）で、昨年9月の台風18号での洪水調節が評価され、洪水調節賞と併せて受賞しました。

【第二用地課 高橋宏行】

### イベントのお知らせ

しょうがつしほしほ  
**正月堂修正会**

開催日：2月11日（火）～2月12日（水）

開催場所：観音提寺正月堂（伊賀市島ヶ原）

お問い合わせ：島ヶ原観光協会

TEL：0595-59-2501

**伊賀上野城下町のおひなさん**

開催日：2月15日（土）～3月3日（月）

開催場所：伊賀市上野本町通り周辺

お問い合わせ：伊賀市役所観光戦略課

TEL：0595-22-9670

### 編集後記

1月の大寒から2月の立春にかけて、冬の寒さが一番厳しくなると言われています。先日、午前中に川上地区の山間に行くと、枯れたススキの穂や竹藪の葉に霜が降りており、何とも幻想的な風景を見ることができました。年々、冬の寒さが我慢できなくなる中で、冬には冬の良さがあることを改めて感じました。

暦の上では大寒が寒さの頂点となりますが、まだまだ寒い日々が続きますので、体調を崩されませんよう十分お気を付けください。

【広報誌発行事務局】

編集長	神矢（所長）	
デスク	梅村（総務課長）	田中（工務課長）
記者	湯本（総務課）	渡辺（総務課）
	本山（第一用地課）	高橋（第二用地課）
	遠本（調査設計課）	飯島（環境課）
	廣瀬（工事課）	日隈（工務課）